

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>明るく・親しみやすい園の特長を体现したホームページが開設されている</p> <p>ホームページが開設されており、法人の財務諸表、定款等が公開されている。またサイト内には園のページが設定されており、保育理念、園での生活の様子等が記されている。明るい装丁にて園の概要が紹介されており、園の親しみやすい雰囲気が体现されている。また職員の募集についても広報されており、1年目の職員の感想を掲載するなど求職者の目線にたった情報を提供できるよう工夫に努めている。</p> <p>随時の見学と合同見学会の双方を通じて園への理解が深まるよう取り組んでいる</p> <p>多数の利用希望者からの問い合わせ・見学希望があり、年間で50件以上の対応をしている。希望者の合同説明会と随時の個別見学の双方を実施しており、利用者の都合を考慮して行われている。見学時には、完全給食の実施等利用希望者の関心ある事項について特に注力して説明し、園のことを十分理解してもらえるよう努めている。また合同説明会と個別見学の双方の開催についてはその効用について検証しており、有用な開催方法の検討を図っている。</p> <p>市への情報提供と連携により利用希望者のニーズに応えている</p> <p>市の保育所・認定こども園が一覧できるホームページには、市民をはじめ多くの方々が園の概要を知ることができるよう、保育時間、保育方針、慣らし保育の期間、送迎バスあり等の情報が掲載されている。行政とは日々の連携と情報提供により関係が構築されており、学童保育とあわせて地域の児童福祉に協同で貢献できるよう取り組んでいる。</p>		
サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの指導・援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p> 入園にあたっては説明書面の配布説明と同意書の提出がなされている 毎年3月上旬に開催される「入園準備進級説明会」では資料を配布し、入園への希望がふくらむよう・不安を払拭できるよう丁寧な説明を心がけている。配布資料には、理念・目標にはじまり、駐車場の説明、保育時間や費用、持ち物や守るべき事項についての説明が細かになされている。入園前の見学时に丁寧な説明を実施しているため、再度の確認と整理の時間になるよう取り組んでいる。 </p> <p> 入園時には慣らし保育の実施をもって園生活への対応を図っている 入園時には約1週間程度の慣らし保育を実施しており、園生活に速やかに親しめるよう取り組んでいる。保護者に対しても安心できるよう十分な説明を施し、慣らし保育実施期間中に個別面談を実施し、協力してスムーズなスタートが切れるよう、今後の園生活への不安をなくせるよう努めている。子どもたちが登園を楽しみにできるようまた、様々なことに興味をもてるよう環境設定への配慮を行っている。 </p> <p> 転園等に対しても情報共有を図り、継続性への配慮に努めている やむなく転居等に伴い転園する利用者に対しては、転園先からの希望や質問がある場合、配慮すべき事項がある場合等について、連携し継続性への配慮に努めている。また就学にあたっては保育要録の提出のほか、主な就学先との会合や交流を通して情報を共有し、保護者や子どもたちの安心に繋がるよう取り組んでいる。 </p>		
サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 全体的な計画(教育課程を含む)や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画(教育課程を含む)を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの様子や子どもを取り巻く状況に即して、指導の過程についての反省や評価を行い、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な指導・援助内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、指導・援助を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが指導事例を持ち寄り、話し合う場を設けることで職員の専門性を高め、一人ひとりの幼児理解を共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3の講評		
提出書類、面談結果をもとに情報の精査と管理がなされている 入園時には家庭状況、健康状態等についての書類を提出してもらい、また個別面談等のアセスメントにより把握と収集がなされている。書類は精査ののち、ファイルに納められ、所定の鍵付きの書庫にて管理にあたっている。また提出された情報に変更がある場合には、随時および進級時の面談の際に更新を図り、最新の情報となるようにしている。		
全体的な計画の変更を各指導計画に繋げている 本年度の保育指針の改訂を受け、園長を中心に全体的な計画の見直しを実施している。特に「教育・保育」のねらいについては細かに掲げており、社会的責任に対しても人権尊重、説明責任、情報保護、苦情解決の4項目に渡って示している。これらを受け、クラスごとの年、月、週の各計画が策定されている。特に「同年齢における複数クラスにおいて共通のねらいをもつこと、保育の繋がりを重視すること」を意識して一連の書式が組み立てられており、長年に渡る保育運営の知識が結集されていることが理解できる。		
園だよりを通じて保護者に保育のねらいを伝えている 全体的な計画、年・月の指導計画の内容は、園だよりや行事案内を通じて伝えており、園の方針や保育のねらいを理解してもらい、協調した取り組みとなるよう努めている。また日々の子どもの様子を認識してもらうため保育参観を実施しており、目で見て、肌で感じて園と保育者の方針や人柄を理解してもらえるよう取り組んでいる。		

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した指導・援助を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の教育・保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した指導・援助を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>個人情報の取り扱いについて書面配布と説明がなされている</p> <p>入園進級準備会時の配布資料には、個人情報保護方針として個人情報の利用目的が記録管理等具体的に列挙し、説明されている。こちらの書面を含む各事項についての同意書の提出をもって保護者の意向確認がなされている。また方針に定めるとおり個人情報保護規程が設置されており、個人情報の取り扱い詳細を定め、適切な運用を図るよう取り組んでいる。</p> <p>プライバシーについては配慮と更なる研鑽に努めている</p> <p>屋外に設置されたプールは周りに柵をほどこしており、着替え等を含め、プライバシーへの配慮に努めている。また男性保育士のための外部研修に参加するなど社会情勢や同行について考慮し、園および保育士個々が研鑽を積みながら対応を図っている。守秘等については職員のみならず、実習生・ボランティアに至るまでオリエンテーション時に指導を徹底するよう取り組んでいる。</p> <p>家庭と子どもの状況に応じ、柔軟な対応に努めている</p> <p>外国人の家庭等に対しては給食での除去食の実施等柔軟な対応に努めており、丁寧な説明を心がけている。また原則として投薬は実施しないこととしているものの、やむを得ない事情がある場合には、医師の診断、書類提出等一定の条件をもって実施している。鍵付きの保管庫での管理、ダブルチェックによる確認など適正な与薬に対して取り決めがなされている。</p>			
サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	

評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(○●)
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリ6の講評		
<p>各種マニュアルを整備しており、特に危機管理については細分化がなされている</p> <p>個人情報、苦情対応等をはじめとしたマニュアル・規程が整備されており、特に子どもたちの安全を守るための危機管理に対しては、リスク別に細分化されている。事故については予防と発生、散歩、不審者、災害、アレルギー対応、配慮の必要な子どもへの対応等々のマニュアルが設定されており、職員は誰もが見られるよう環境整備されている。</p> <p>プリント配布により留意事項の共有化を図っている</p> <p>年間指導計画等の策定にあたっては、職員のアイデアや経験を活かしつつも、職員による差異を防ぎ、園の方針に沿うよう、手順書が策定されている。園や保育指針の反映、年齢ごとの特性、各計画の繋がりなど重視している箇所を理解するための指南書となっている。また、合同保育・延長保育時・行事開催についての留意事項等はマニュアルとして冊子化されていないが、各種注意事項はプリントとして配布されており、職員ごとにファイリングがなされている。</p>		

III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた指導・援助を行っている			
評点(〇〇〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで指導・援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の教育・保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう指導・援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、指導・援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>配慮の必要な子どもに対して環境整備と関係機関との連携により対応を図っている</p> <p>配慮の必要な子どもに対しては、行政の巡回指導等を活用し、ときに指導を仰ぎながら対応を図っている。また保育所等訪問についても必要に応じて協力を求めている。計画作成にあたっては専門家の意見を参考にしながら、子ども一人ひとりに対して適切な保育となるよう取り組んでいる。また関係する研修へは積極的に参加し、新たな知識を導入するよう努めている。</p> <p>園の責任のもと子ども同士のトラブルへの解決にあたっている</p> <p>園で起きたことは園の責任において解決することを表明しており、子ども・保護者の間に入りながら適切な対応となるよう取り組んでいる。案件は多様であることから、あらかじめ対処方法を決めるのではなく、ケースバイケースとして柔軟な対応にあたっている。子どもに寄り添い、子どもの思いを受け止めた対応により子どもと保護者から信頼されるよう努めている。</p> <p>職員・子どもたちが直接交流するなど就学への配慮に努めている</p> <p>通園が広範囲に渡り、就学先は約10カ所と分かれているため、継続性について配慮に努めている。近隣の小学校へは、職員同士の交流や子どもたちの体験授業参加等を通して、子どもたちが雰囲気をつかめるよう努めている。園児数が多いメリットを活かし、集団での活動に慣れ、自分自身を表現できるよう子どもの特性や年齢に合わせた保育の実施に励んでいる。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した教育・保育を行っている			
評点(〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう指導・援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

連絡帳と日々のコミュニケーションにより家庭での様子を確認している
 0歳は複写式の連絡帳、1歳は連絡ノートにより家庭と園での様子をやりとりしており、家庭との連携を図るよう努めている。また子どもから保護者に園での様子を伝えられる年齢では、子どもから直接保護者に話すことを重視しており、親子のコミュニケーションの妨げとならないよう配慮に努めている。

家庭との連携・子どもの意思を尊重し、生活習慣の習得を進めている
 家庭の方針や事情は様々であることから家庭との連絡を密にすること、一方で子どもの発達・発育を見逃さずにタイムリーな保育をすることの双方に注力しており、適切な生活習慣の習得にあたっている。また子どもの意思とやる気を大事にし、無理強いすることなく、自然に・集団生活の良さを活かしながら担任職員を中心に薦めている。

安全に配慮し、長時間に渡る場合の保育にあたっている
 家庭との連絡を密にし、就寝時間等子どもの生活パターンを把握し、無理なく園での生活を送れるよう配慮に努めている。特に低年齢児に対しては、看護師を担当職員として配置するなど健康に配慮した保育を進めている。また夕方以降の合同保育時も職員配置の工夫、活動の選定等により、安全で快適に遊ぶことができるようプログラムが整備されている。

3 評価項目3

日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう指導・援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

遊び込める環境形成のため、指導と標準化がなされている
 子どもたちそれぞれが、そのときにしたい遊びをできるようコーナー保育や玩具の設置をし、遊び込める環境をつくるよう取り組んでいる。また単に実施するだけでなく、長時間保育・夕方の時間帯の保育について指導書面を作成しており、園全体での方針の浸透を図っている。職員が園の方針に従うだけでなく、職員自身の保育に対する納得感を引き出しながら、進めるよう配慮している。

集団の中で表現力を身につけられるようカリキュラムを組んでいる
 集団の中で表現することの喜びを見いだせるリトミック、リズム体操等を取り入れたカリキュラムを導入し、楽しみながら・体を動かしながら身につけていけるよう指導を図っている。また、外部講師を招いての英語教室を開催しており、言語の習得だけでなく、異文化に触れる・子どもの興味や関心を育てることを重視して実施がなされている。

恵まれた環境を活かし、積極的な戸外活動が実施されている
 広い園庭に加え、園の周辺は田畑もあり自然があふれ、戸外で安全に遊べる恵まれた環境を有している。恵まれた環境を活かし、積極的に外にでかけ、近隣の神社等で戸外活動を満喫している。また、散歩マニュアルによる留意事項の徹底、いつでも園と連絡がとれる体制、複数による職員配置等の対策が講じられている。

4 評価項目4 日常の教育・保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当

評価項目4の講評

日常の中での体験を重んじた行事設定への変更を図っている
 運動会、作品展、発表会等の行事は担当職員の配置と計画立案をもって丁寧に取り組んでいる。これまでの作り込んでいく行事から子どもたちのやりたいことや日常の中での経験を活かす行事へと変更を図っている。特に運動会については今年度よりねらいと大幅なカリキュラム変更を予定しており、実施後の検証を次期の開催や今後の保育に活用していくことが期待される。

一つのことをつくりあげ、達成感をもてるよう取り組んでいる
 子どもたち・職員それぞれの思いを取り入れ、皆でつくりあげられる行事とすることを行事の主眼として取り組んでいる。子ども・職員・ときに保護者が一つの目標に向かい、それぞれが達成感を感じられる行事となるよう計画している。行事実施後は反省と評価が細くなくされ、図や表を用いて詳細を書面に残し、次年度開催に役立てられるよう配慮されている。

5 評価項目5 在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

保育時間が長時間に渡る場合も楽しく・安全に過ごす取り組みが施されている
 長時間保育・夕方以降の保育については、留意事項と方法が書面化されており、職員会議等を通して周知と徹底を図っている。時間割・プログラム・職員配置が定められており、移動も含め安全に実施するための配慮がなされている。ホールを使用した異年齢同士の交流をはじめ、子どもたちが楽しく遊ぶことができるよう考えられた計画となっている。

水分補給等在園時間の長さに配慮した取り組みがなされている
 特に夏季については熱中症発生に対して注視しており、在園時間の長さや環境に応じて水分を補給するよう心がけている。園児の水筒持参にあたっては衛生面に配慮して取り決めがなされており、保護者への説明等対策を施している。またおやつ・補食の提供についても一定時刻での提供を定めており、安心して過ごせる環境構築にあたっている。

6 評価項目6 子どもが食事を楽しめるよう配慮している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. 園で提供する食事は、メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>給食会議により改善に取り組んでいる</p> <p>定期で給食会議を開催しており、残食結果の検証等により食事提供の改善について話し合いがなされている。アレルギー対応、離乳食等についても話し合いがなされており、安全・安心な食事の提供となるよう取り組んでいる。今後はメニューのバリエーションを増やすことを検討しており、調理時間や職員負担に鑑みながら改善を図る意向をもっている。</p> <p>食物アレルギーに対しては、対応方法と確認をもって臨んでいる</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもに対しては、アセスメントと医師の指示をもって行っており、対応方法についてはマニュアルに記されている。標準化された対応・フローチャート化された流れに準じて調理・確認がなされており、トレーや食事場所への配慮等をもって安全な食事が実施されている。過去の経験や事例を参考にダブルチェック・わかりやすい表示等、入念な対応方法の構築にあたっている。</p> <p>恵まれた環境を活かした食育活動が展開されている</p> <p>園の畑では、職員や保護者役員の協力のもと、とうもろこしやじゃがいもを栽培しており、園庭ではプランターを活用した野菜栽培がなされている。栽培した野菜等は給食の食材として提供され、カレー作り、お団子づくりなどの食育活動に利用されている。食物を身近に感じ、子どもたちが興味をもてる環境形成をもって食育活動への注力がなされている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう指導・援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように指導・援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っている	○非該当

評価項目7の講評

定期の健康診断等の実施により子どもの健康管理にあたっている

定期での健康診断・歯科検診・身体測定を実施し、それぞれ記録の作成と保管がなされており、結果については書面にて保護者に伝達している。保護者と密にコミュニケーションを図り、連携して子どもたちの体調や健康を管理するよう取り組んでいる。また感染症蔓延防止についても保護者に協力を呼びかけ、看護師を中心に衛生環境の保全にあたっている。

配慮の必要な子どもに対しては、関係機関との連携と計画立案をもって対応している

配慮の必要な子どもに対しては個別の指導計画を立案しており、適切かつ一人ひとりに寄り添う保育となるよう取り組んでいる。保健センター、行政の巡回指導、医療機関等と必要に応じて連携を図り、専門家の意見を参考にしながら対応を図っている。また職員に対してもマニュアルの作成、研修への参加を通して更なる保育力・指導力の向上が図れるよう園全体で取り組んでいる。

機器の導入等、安全な午睡実施に取り組んでいる

午睡時には年齢ごとに間隔を定めたチェックを実施しており、記録に収められている。特に0歳、1歳については担当に看護師を配置するなど健康の確保に対して注力が図られている。今後は午睡チェックセンサーの導入を決められており、更に安全対策の充実を図るよう取り組んでいる。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、生活形態や子育ての考え方の違いなど、個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の教育・保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保育参観を通して園の方針を理解してもらえるよう取り組んでいる

保育参観を実施し、日頃の子どもの様子や職員の保育姿勢を見てもらい、園の保育方針を理解してもらえるよう取り組んでいる。また行事については入園進級準備説明会時に日程・計画を書面で渡し、なるべく保護者の参加してもらえるよう配慮に努めている。保護者の就労状況等についても把握し、特に低年齢児については就労と子育てのバランスについて相談に応じるよう努めている。

保護者も楽しめる企画をもって懇談会が実施されている

保護者の懇談会は就労等を配慮して土曜日に開催しており、多くの保護者が参加できるよう努めている。懇談会の後には保護者が参加する企画を用意しており、気軽に・楽しんで来園してもらえるよう取り組んでいる。保護者同士の交流の機会となっており、職員だけでなく園を取り巻く環境が、信頼しあえる・相談しあえる雰囲気となるよう取り計らう園の意図が感じられる。

9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目9の講評			
<p> 高齢者施設への慰問など地域貢献活動を展開している 複数の高齢者施設への慰問などにより、子どもたちが有する魅力と元気を高齢者に伝えており、地域の方々に喜んでもらえるよう取り組んでいる。また核家族家庭が増える中、子どもたちにとっても貴重な体験として育まれている。ボランティア・実習生の受け入れ以外にも中学生の職場体験の受け入れがなされており、保育園の業務を通して職業への関心が深められるよう協力を努めている。 </p> <p> 地域の方々への参加により行事が開催されている 運動会は、地域の同好会の方が参加するプログラムを設定するなど地域の方々に加わっていただき、皆で楽しめる催しとしている。また夏祭りには職員が関わり、イベントが実施されている。長年地域の児童福祉に資してきた繋がりは深く、信頼関係が構築された中での交流は、安定した保育、安心な環境など園運営の土台形成の源となっている。 </p>			